

堆肥づくりマニュアル

発酵スタート時の
比重調整が
ポイント！！

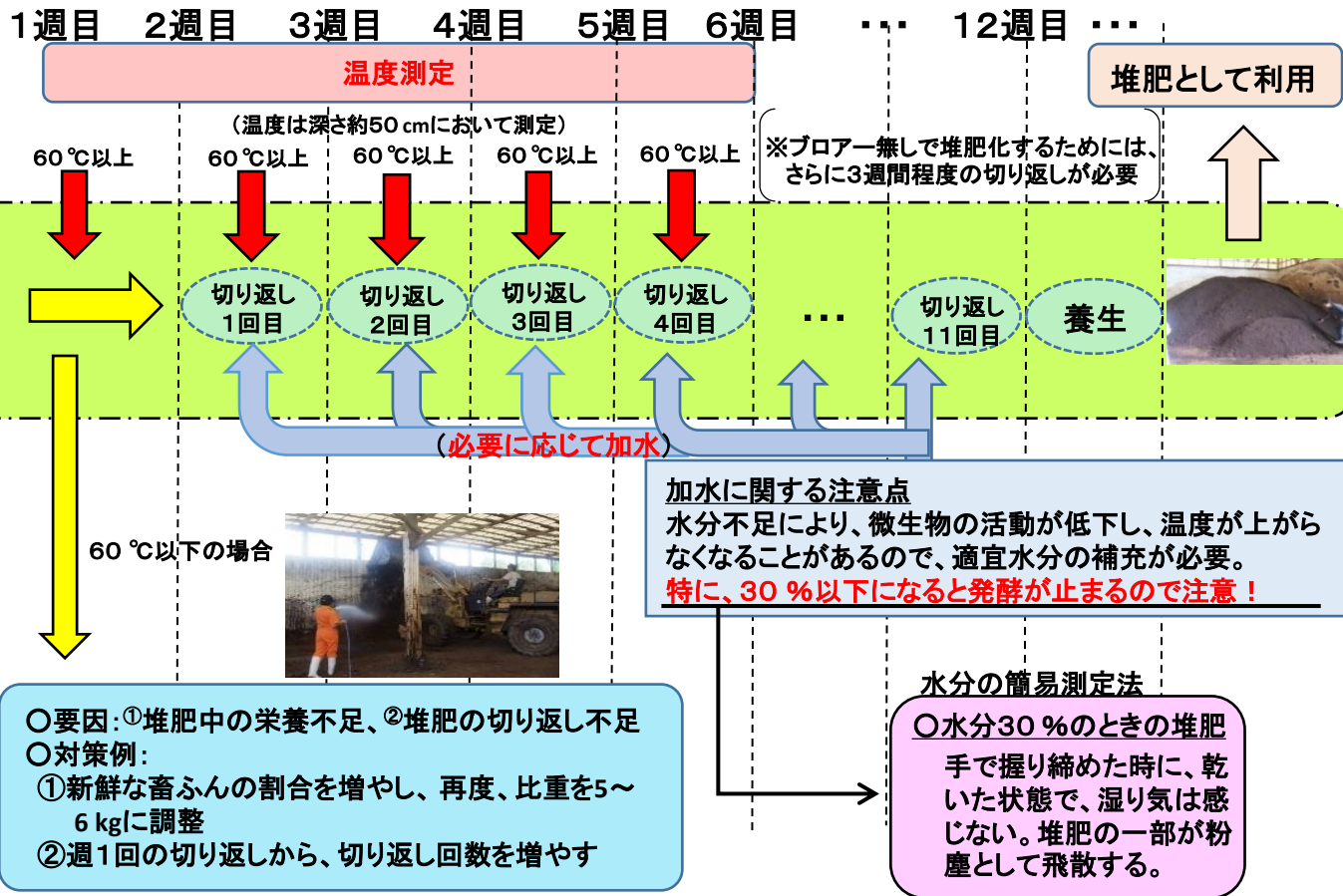
原料

畜ふん
+
副資材
(オガクズ・糶がら等)

10ℓバケツに原料をすり
切り一杯入れ、
重量計で**5 kg～6 kg**
に合わせる。
(バケツの重さは除く)



水分：牛(約65%以下)
豚・鶏(約55%以下)



事業名：攻めのみやざき堆肥流通促進事業

☎お問い合わせ先 ☎ 最寄りの西臼杵支庁・農林振興局、農業改良普及センター等
又は宮崎県 農政水産部 畜産新生推進局畜産振興課 TEL 0985-26-7138
(公社)宮崎県畜産協会 経営支援部 経営指導課 TEL 0985-41-9303

堆肥づくりマニュアル(戻し堆肥: 敷料(オガクズ代替え利用))

1週目 2週目 3週目 4週目 5週目 6週目 7週目 ... 12週目 ...

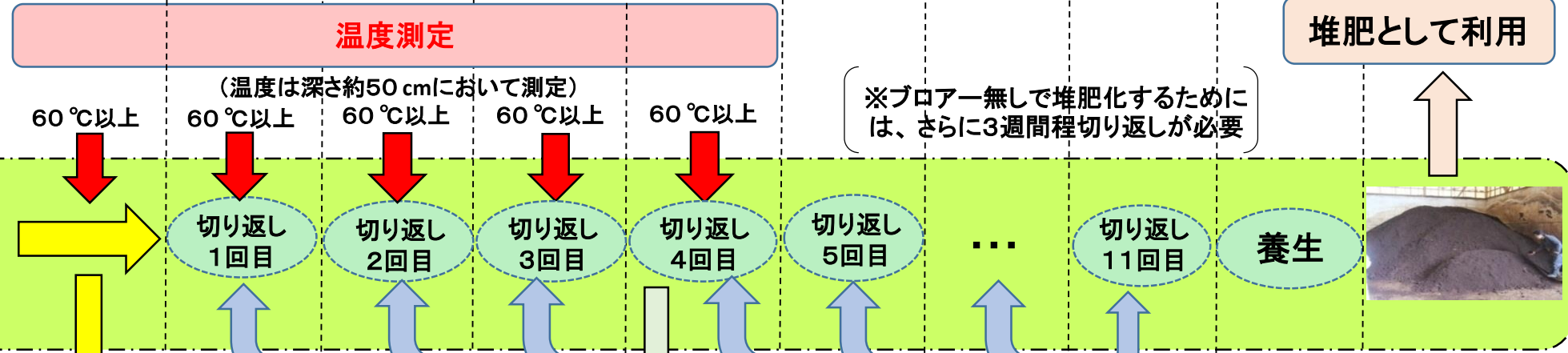
発酵スタート時の比重調整がポイント！！

原料
畜ふん + 副資材
(オガクズ・粃がら等)

10ℓバケツに原料をすり切り一杯入れ、重量計で**5 kg~6 kg**に合わせる。
(バケツの重さは除く)



水分: 牛(約65%以下)
豚・鶏(約55%以下)



60℃以下の場合
水分の簡易測定法
○水分30%のときの堆肥
手で握り締めた時に、乾いた状態で、湿り気は感じない。堆肥の一部が粉塵として飛散する。

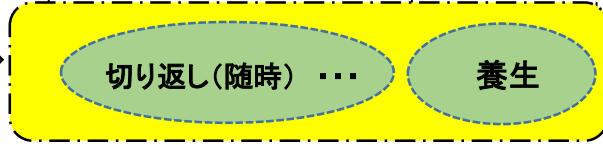
加水に関する注意点
水分不足により、微生物の活動が低下し、温度が上がらなくなることがあるので、適宜水分の補充が必要。
特に、30%以下になると発酵が止まるので注意！

【目安】
比重4.5 kgの堆肥をオガクズと1:1で混合し、比重2.5 kg前後で仕込む
【利点】
○発酵熱でオガクズの発酵消毒ができる

○要因: ①堆肥中の栄養不足、②堆肥の切り返し不足
○対策例:
①新鮮な畜ふんの割合を増やし、再度、比重を5~6 kgに調整
②週1回の切り返しから、切り返し回数を増やす

発酵温度の確認
(温度は深さ約50 cmにおいて測定)
60℃以上(2日間)

細菌検査(随時)



堆肥: オガクズ混合【目安】(1:1)



堆肥づくりマニュアル(戻し堆肥:副資材利用)

1週目 2週目 3週目 4週目 5週目 6週目 ... 12週目 ...

発酵スタート時の
比重調整が
ポイント！！

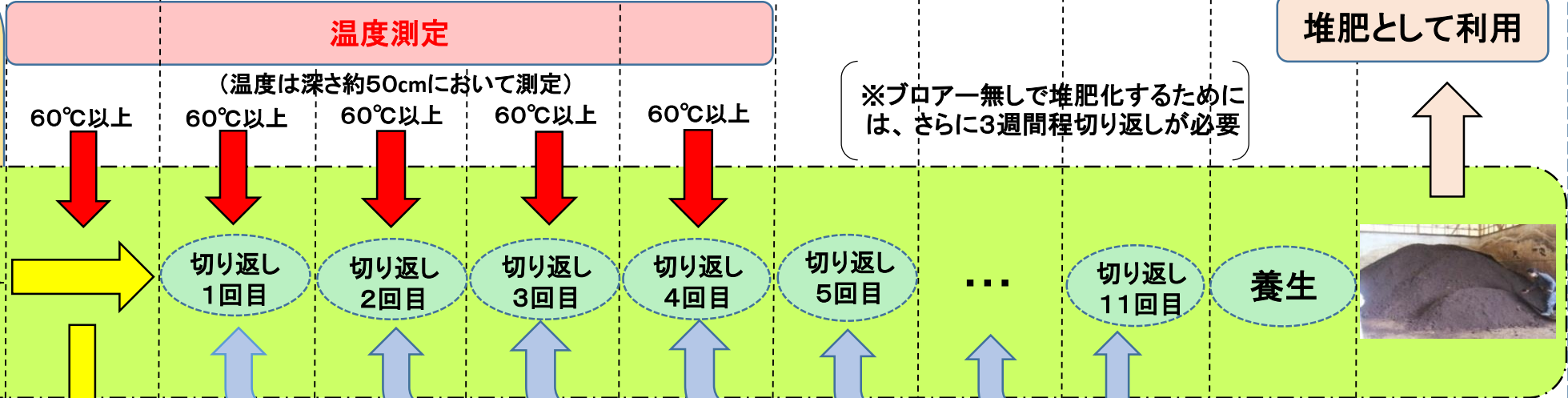
原料

畜ふん
+
戻し堆肥
副資材
(オガクズ・糶がら等)

10ℓバケツに原料をすり
切り一杯入れ、
重量計で**5kg~6kg**
に合わせる。
(バケツの重さは除く)



水分:牛(約65%以下)
豚・鶏(約55%以下)



温度測定

(温度は深さ約50cmにおいて測定)

60℃以上

60℃以上

60℃以上

60℃以上

60℃以上

※ブローア無しで堆肥化するためには、さらに3週間程切り返しが必要

切り返し
1回目

切り返し
2回目

切り返し
3回目

切り返し
4回目

切り返し
5回目

...

切り返し
11回目

養生

堆肥として利用



60℃以下の場合



加水に関する注意点

水分不足により、微生物の活動が低下し、温度が上がらなくなることもあるので、適宜水分の補充が必要。
特に、30%以下になると発酵が止まるので注意！

- 要因:①堆肥中の栄養不足、②堆肥の切り返し不足
- 対策例:
①新鮮な畜ふんの割合を増やし、再度、比重を5~6kgに調整
②週1回の切り返しから、切り返し回数を増やす

水分の簡易測定法

- 水分30%のときの堆肥
手で握り締めた時に、乾いた状態で、湿り気は感じない。堆肥の一部が粉塵として飛散する。

堆肥を副資材(水分調整用)として堆肥舎に戻す場合
【利点】
オガクズ等の副資材の使用量低減が可能
(比重調整材としての代用)